

■西田幾多郎 哲学者。「善の研究」で衝撃をもたらし、“場所の論理”で独自の哲学を確立し、“西田哲学”が大きな影響。

に시다きたろう

初の日刊新聞1870＝ 石川県河北郡宇ノ気村で、ともに庄屋の家系の出身の西田得登・寅三の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

初の民間工場1875＝ 5歳：新たな学制によって開設された長楽寺内森小学校に入学。

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

新体詩抄・・・1882＝12歳：高等小学校を卒業。一家をあけて金沢へ移住し、漢文・数学を学ぶ。

岩倉具視没・1883＝13歳：石川県師範学校に入学。4つ上の姉と共にチフスを患い、姉は死去。

秩父事件・・・1884＝14歳：師範学校を中退。数学の家塾に通い、木村栄と出会う。

帝国大学始・1886＝16歳：北条時敏に数学を学ぶ。石川県専門学校附属初等中学校に補欠入学。

国民之友始・1887＝17歳：北条宅に書生として寄寓し数学の指導を受ける。石川県専門学校が官立に移管されて_第四高等中学予科第一級に編入学。生涯の友となる鈴木大拙と知り合い、また、哲学者になろうと決意、四校本科1年生となり哲学を専攻。この年、鈴木は四校を中退。

初の対等条約1888＝18歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

帝国憲法発布1889＝19歳：{我尊会}は解散。_中途退学。眼をみ入院。

帝国議会始・1890＝20歳：_帝国大学文科大学哲学科選科に入学。哲学を井上哲次郎、ブッセ、ケーベルらに学ぶ。

足尾鉋毒始・1891＝21歳：_東京市本郷区に母と家をもつ。在学中、鎌倉の建長寺、円覚寺などに参禅。

大本教・・・1892＝22歳：_東京大学哲学科選科を卒業。

日清戦争始・1894＝24歳：金沢に戻って、石川県能登尋常中学校七尾分校の教諭となる。得田耕の長女寿美と結婚。{教育時論}に「グリーン氏倫理学の大意」を連載。_物心両面の苦悩から、

日清戦争終・1895＝25歳：長女が誕生。金沢の第四高等学校講師となる。洗心庵の雪門禅師に_参禅を始める。

白馬会・・・1896＝26歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

八幡製鉄始・1897＝27歳：妻と離縁。突然免職され、山口高校の教授囑託となって赴任。諸禅師に参禅、本格的禅の修業が始まる。

子規句歌革新1898＝28歳：長男が誕生。父が死去。

Bushidou・・・1899＝29歳：妻と復縁。山口高等学校教授となるが、第四高等学校教授に転任、金沢に戻り、以後、雪門禅師に参禅。

田中正造直訴1901＝31歳：二男が誕生。雪門禅師より“寸心”居士号を受ける。

教科書疑獄・1902＝32歳：二女が誕生。

日比谷公園・1903＝33歳：京都大徳寺の広州禅師に参禅し“無字の公案”を透過して、_ようやく悟りの境地に達し、

日露戦争始・1904＝34歳：日露戦争に出征した弟憑次郎が旅順で戦死。

日露戦争終・1905＝35歳：三女が誕生。

満鉄発足・・・1906＝36歳：

韓国反日暴動1907＝37歳：二女が夭折。四女・五女が誕生するも、五女はすぐ死去。紀平正美が{哲学雑誌}で西田を紹介。_肋膜炎を発病し、保養のため転地。その間、四高がおもしろくなく転任運動を試みるとともに、哲学も深化、六女が誕生。_学習院教授に任命され、一時東京府に住むが、四校の同級生藤岡作太郎が死去。_京都大学哲学科倫理学講座の助教授に着任して、京都市に居を定める。*到達した思想を論述した「善の研究」を刊行。この書は、近代合理主義、理想主義と、現実の日本の非合理的情念、実利主義との間で近代的自我の確立に苦しんでいた当代の青年に、衝撃的な影響を与えた。

明治天皇没・1912＝42歳：桑木巖翼の東大転出とともに、

大正政変・・・1913＝43歳：

21ヶ条要求・1915＝45歳：

ロシア革命・1917＝47歳：

本格政党内閣1918＝48歳：

ベルサイユ条約・1919＝49歳：

大暴落・・・1920＝50歳：

原敬首相暗殺1921＝51歳：

水平社結成・1922＝52歳：

関東大震災・1923＝53歳：

護憲三派圧勝1924＝54歳：

治安維持法・1925＝55歳：

金融恐慌・・・1927＝57歳：

共産党事件・1928＝58歳：

海軍軍縮条約1930＝60歳：

満州事変・・・1931＝61歳：

五一五事件・1932＝62歳：

国際連盟脱退1933＝63歳：

二二六事件・1936＝66歳：

日中戦争始・1937＝67歳：

大政翼賛会・1940＝70歳：

日米開戦・・・1941＝71歳：

・・・・・・1942＝72歳：

敗戦・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

哲学者。「善の研究」で衝撃をもたらし、“場所の論理”で独自の哲学を確立し、“西田哲学”が大きな影響。

に시다きたろう

初の日刊新聞1870＝ 石川県河北郡宇ノ気村で、ともに庄屋の家系の出身の西田得登・寅三の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

初の民間工場1875＝ 5歳：新たな学制によって開設された長楽寺内森小学校に入学。

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

新体詩抄・・・1882＝12歳：高等小学校を卒業。一家をあけて金沢へ移住し、漢文・数学を学ぶ。

岩倉具視没・1883＝13歳：石川県師範学校に入学。4つ上の姉と共にチフスを患い、姉は死去。

秩父事件・・・1884＝14歳：師範学校を中退。数学の家塾に通い、木村栄と出会う。

帝国大学始・1886＝16歳：北条時敏に数学を学ぶ。石川県専門学校附属初等中学校に補欠入学。

国民之友始・1887＝17歳：北条宅に書生として寄寓し数学の指導を受ける。石川県専門学校が官立に移管されて_第四高等中学予科第一級に編入学。生涯の友となる鈴木大拙と知り合い、また、哲学者になろうと決意、四校本科1年生となり哲学を専攻。この年、鈴木は四校を中退。

初の対等条約1888＝18歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

帝国憲法発布1889＝19歳：{我尊会}は解散。_中途退学。眼をみ入院。

帝国議会始・1890＝20歳：_帝国大学文科大学哲学科選科に入学。哲学を井上哲次郎、ブッセ、ケーベルらに学ぶ。

足尾鉋毒始・1891＝21歳：_東京市本郷区に母と家をもつ。在学中、鎌倉の建長寺、円覚寺などに参禅。

大本教・・・1892＝22歳：_東京大学哲学科選科を卒業。

日清戦争始・1894＝24歳：金沢に戻って、石川県能登尋常中学校七尾分校の教諭となる。得田耕の長女寿美と結婚。{教育時論}に「グリーン氏倫理学の大意」を連載。_物心両面の苦悩から、

日清戦争終・1895＝25歳：長女が誕生。金沢の第四高等学校講師となる。洗心庵の雪門禅師に_参禅を始める。

白馬会・・・1896＝26歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

八幡製鉄始・1897＝27歳：妻と離縁。突然免職され、山口高校の教授囑託となって赴任。諸禅師に参禅、本格的禅の修業が始まる。

子規句歌革新1898＝28歳：長男が誕生。父が死去。

Bushidou・・・1899＝29歳：妻と復縁。山口高等学校教授となるが、第四高等学校教授に転任、金沢に戻り、以後、雪門禅師に参禅。

田中正造直訴1901＝31歳：二男が誕生。雪門禅師より“寸心”居士号を受ける。

教科書疑獄・1902＝32歳：二女が誕生。

日比谷公園・1903＝33歳：京都大徳寺の広州禅師に参禅し“無字の公案”を透過して、_ようやく悟りの境地に達し、

日露戦争始・1904＝34歳：日露戦争に出征した弟憑次郎が旅順で戦死。

日露戦争終・1905＝35歳：三女が誕生。

満鉄発足・・・1906＝36歳：

韓国反日暴動1907＝37歳：二女が夭折。四女・五女が誕生するも、五女はすぐ死去。紀平正美が{哲学雑誌}で西田を紹介。_肋膜炎を発病し、保養のため転地。その間、四高がおもしろくなく転任運動を試みるとともに、哲学も深化、六女が誕生。_学習院教授に任命され、一時東京府に住むが、四校の同級生藤岡作太郎が死去。_京都大学哲学科倫理学講座の助教授に着任して、京都市に居を定める。*到達した思想を論述した「善の研究」を刊行。この書は、近代合理主義、理想主義と、現実の日本の非合理的情念、実利主義との間で近代的自我の確立に苦しんでいた当代の青年に、衝撃的な影響を与えた。

明治天皇没・1912＝42歳：桑木巖翼の東大転出とともに、

大正政変・・・1913＝43歳：

21ヶ条要求・1915＝45歳：

ロシア革命・1917＝47歳：

本格政党内閣1918＝48歳：

ベルサイユ条約・1919＝49歳：

大暴落・・・1920＝50歳：

原敬首相暗殺1921＝51歳：

水平社結成・1922＝52歳：

関東大震災・1923＝53歳：

護憲三派圧勝1924＝54歳：

治安維持法・1925＝55歳：

金融恐慌・・・1927＝57歳：

共産党事件・1928＝58歳：

海軍軍縮条約1930＝60歳：

満州事変・・・1931＝61歳：

五一五事件・1932＝62歳：

国際連盟脱退1933＝63歳：

二二六事件・1936＝66歳：

日中戦争始・1937＝67歳：

大政翼賛会・1940＝70歳：

日米開戦・・・1941＝71歳：

・・・・・・1942＝72歳：

敗戦・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

哲学者。「善の研究」で衝撃をもたらし、“場所の論理”で独自の哲学を確立し、“西田哲学”が大きな影響。

に시다きたろう

初の日刊新聞1870＝ 石川県河北郡宇ノ気村で、ともに庄屋の家系の出身の西田得登・寅三の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

初の民間工場1875＝ 5歳：新たな学制によって開設された長楽寺内森小学校に入学。

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

新体詩抄・・・1882＝12歳：高等小学校を卒業。一家をあけて金沢へ移住し、漢文・数学を学ぶ。

岩倉具視没・1883＝13歳：石川県師範学校に入学。4つ上の姉と共にチフスを患い、姉は死去。

秩父事件・・・1884＝14歳：師範学校を中退。数学の家塾に通い、木村栄と出会う。

帝国大学始・1886＝16歳：北条時敏に数学を学ぶ。石川県専門学校附属初等中学校に補欠入学。

国民之友始・1887＝17歳：北条宅に書生として寄寓し数学の指導を受ける。石川県専門学校が官立に移管されて_第四高等中学予科第一級に編入学。生涯の友となる鈴木大拙と知り合い、また、哲学者になろうと決意、四校本科1年生となり哲学を専攻。この年、鈴木は四校を中退。

初の対等条約1888＝18歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

帝国憲法発布1889＝19歳：{我尊会}は解散。_中途退学。眼をみ入院。

帝国議会始・1890＝20歳：_帝国大学文科大学哲学科選科に入学。哲学を井上哲次郎、ブッセ、ケーベルらに学ぶ。

足尾鉋毒始・1891＝21歳：_東京市本郷区に母と家をもつ。在学中、鎌倉の建長寺、円覚寺などに参禅。

大本教・・・1892＝22歳：_東京大学哲学科選科を卒業。

日清戦争始・1894＝24歳：金沢に戻って、石川県能登尋常中学校七尾分校の教諭となる。得田耕の長女寿美と結婚。{教育時論}に「グリーン氏倫理学の大意」を連載。_物心両面の苦悩から、

日清戦争終・1895＝25歳：長女が誕生。金沢の第四高等学校講師となる。洗心庵の雪門禅師に_参禅を始める。

白馬会・・・1896＝26歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

八幡製鉄始・1897＝27歳：妻と離縁。突然免職され、山口高校の教授囑託となって赴任。諸禅師に参禅、本格的禅の修業が始まる。

子規句歌革新1898＝28歳：長男が誕生。父が死去。

Bushidou・・・1899＝29歳：妻と復縁。山口高等学校教授となるが、第四高等学校教授に転任、金沢に戻り、以後、雪門禅師に参禅。

田中正造直訴1901＝31歳：二男が誕生。雪門禅師より“寸心”居士号を受ける。

教科書疑獄・1902＝32歳：二女が誕生。

日比谷公園・1903＝33歳：京都大徳寺の広州禅師に参禅し“無字の公案”を透過して、_ようやく悟りの境地に達し、

日露戦争始・1904＝34歳：日露戦争に出征した弟憑次郎が旅順で戦死。

日露戦争終・1905＝35歳：三女が誕生。

満鉄発足・・・1906＝36歳：

韓国反日暴動1907＝37歳：二女が夭折。四女・五女が誕生するも、五女はすぐ死去。紀平正美が{哲学雑誌}で西田を紹介。_肋膜炎を発病し、保養のため転地。その間、四高がおもしろくなく転任運動を試みるとともに、哲学も深化、六女が誕生。_学習院教授に任命され、一時東京府に住むが、四校の同級生藤岡作太郎が死去。_京都大学哲学科倫理学講座の助教授に着任して、京都市に居を定める。*到達した思想を論述した「善の研究」を刊行。この書は、近代合理主義、理想主義と、現実の日本の非合理的情念、実利主義との間で近代的自我の確立に苦しんでいた当代の青年に、衝撃的な影響を与えた。

明治天皇没・1912＝42歳：桑木巖翼の東大転出とともに、

大正政変・・・1913＝43歳：

21ヶ条要求・1915＝45歳：

ロシア革命・1917＝47歳：

本格政党内閣1918＝48歳：

ベルサイユ条約・1919＝49歳：

大暴落・・・1920＝50歳：

原敬首相暗殺1921＝51歳：

水平社結成・1922＝52歳：

関東大震災・1923＝53歳：

護憲三派圧勝1924＝54歳：

治安維持法・1925＝55歳：

金融恐慌・・・1927＝57歳：

共産党事件・1928＝58歳：

海軍軍縮条約1930＝60歳：

満州事変・・・1931＝61歳：

五一五事件・1932＝62歳：

国際連盟脱退1933＝63歳：

二二六事件・1936＝66歳：

日中戦争始・1937＝67歳：

大政翼賛会・1940＝70歳：

日米開戦・・・1941＝71歳：

・・・・・・1942＝72歳：

敗戦・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

・・・・・・1945＝75歳：

哲学者。「善の研究」で衝撃をもたらし、“場所の論理”で独自の哲学を確立し、“西田哲学”が大きな影響。

に시다きたろう

初の日刊新聞1870＝ 石川県河北郡宇ノ気村で、ともに庄屋の家系の出身の西田得登・寅三の長男に生まれる。

明治6年政変 1873＝ 3歳：

初の民間工場1875＝ 5歳：新たな学制によって開設された長楽寺内森小学校に入学。

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

新体詩抄・・・1882＝12歳：高等小学校を卒業。一家をあけて金沢へ移住し、漢文・数学を学ぶ。

岩倉具視没・1883＝13歳：石川県師範学校に入学。4つ上の姉と共にチフスを患い、姉は死去。

秩父事件・・・1884＝14歳：師範学校を中退。数学の家塾に通い、木村栄と出会う。

帝国大学始・1886＝16歳：北条時敏に数学を学ぶ。石川県専門学校附属初等中学校に補欠入学。

国民之友始・1887＝17歳：北条宅に書生として寄寓し数学の指導を受ける。石川県専門学校が官立に移管されて_第四高等中学予科第一級に編入学。生涯の友となる鈴木大拙と知り合い、また、哲学者になろうと決意、四校本科1年生となり哲学を専攻。この年、鈴木は四校を中退。

初の対等条約1888＝18歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

帝国憲法発布1889＝19歳：{我尊会}は解散。_中途退学。眼をみ入院。

帝国議会始・1890＝20歳：_帝国大学文科大学哲学科選科に入学。哲学を井上哲次郎、ブッセ、ケーベルらに学ぶ。

足尾鉋毒始・1891＝21歳：_東京市本郷区に母と家をもつ。在学中、鎌倉の建長寺、円覚寺などに参禅。

大本教・・・1892＝22歳：_東京大学哲学科選科を卒業。

日清戦争始・1894＝24歳：金沢に戻って、石川県能登尋常中学校七尾分校の教諭となる。得田耕の長女寿美と結婚。{教育時論}に「グリーン氏倫理学の大意」を連載。_物心両面の苦悩から、

日清戦争終・1895＝25歳：長女が誕生。金沢の第四高等学校講師となる。洗心庵の雪門禅師に_参禅を始める。

白馬会・・・1896＝26歳：友人と{我尊会}結成して、回覧雑誌を発行し、健筆をふるい、_「行状点欠少」のため落第し、

八幡製鉄始・1897＝27歳：妻と離縁。突然免職され、山口高校の教授囑託となって赴任。諸禅師に参禅、本格的禅の修業が始まる。

子規句歌革新1898＝28歳：長男が誕生。父が死去。

Bushidou・・・1899＝29歳：妻と復縁。山口高等学校教授となるが、第四高等学校教授に転任、金沢に戻り、以後、雪門禅師に参禅。

田中正造直訴1901＝31歳：二男が誕生。雪門禅師より“寸心”居士号を受ける。

教科書疑獄・1902＝32歳：二女が誕生。

日比谷公園・1903＝33歳：京都大徳寺の広州禅師に参禅し“無字の公案”を透過して、_ようやく悟りの境地に達し、

日露戦争始・1904＝34歳：日露戦争に出征した弟憑次郎が旅順で戦死。

日露戦争終・1905＝35歳：三女が誕生。

満鉄発足・・・1906＝36歳：